

プロテインキナーゼCaアイソザイム ヒト、再組換え

Cat. No. NATE-0574

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

プロテインキナーゼC (PKC) は、セリン/スレオニンキナーゼであり、さまざまな活性化されたホスホリパーゼの作用を通じて、ホスファチジルイノシトール二リン酸 (PIP2) およびホスファチジルコリン (PC) からDAGを生成するシグナル伝達路によって細胞内で活性化されます。フォルボールエステルもPKCを刺激します。少なくとも11種類のPKCアイソザイムが同定されており、これらは一次構造、組織分布、細胞内局在、細胞外シグナルへの応答、および基質特異性において異なります。アイソザイムは3つのサブファミリーに分類できます。最初のファミリーのメンバーはCa2+およびホスホリビッドを必要とし、PKC α 、 β I、 β II、および γ が含まれます。第二のファミリーのメンバーはホスホリビッド依存ですがCa2+非依存であり、PKC δ 、 ϵ 、 η 、および θ が含まれます。第三のファミリーのメンバーはDAGまたはフォルボールエステルによって活性化されず、PKC ξ 、 μ 、および ι が含まれます。

別名

PRKCA; プロテインキナーゼC、アルファ; PKCA; プロテインキナーゼCアルファ型; PKC-A; PKC α ; AAG6; PKCアルファ; PRKACA

製品情報

種

人間

由来

バキュロウイルスに感染した昆虫細胞

形態

緩衝された水性グリセロール溶液

分子量

mol wt 80-81 kDa by SDS-PAGE

純度

> 70% (SDS-PAGE)

緩衝液

50 mM Tris-HCl、pH 7.5、150 mM NaCl、10 mM グルタチオン、0.1 mM EDTA、0.1 mM PMSF、25% グリセロール、0.25 mM DTT の溶液

代謝路

ATF-2転写因子ネットワーク、特定の生物系；アフリカトリパノソーマ症、特定の生物系；アフリカトリパノソーマ症、保存された生物系；アルドステロン調節ナトリウム再吸収、特定の生物系；アルドステロン調節ナトリウム再吸収、保存された生物系；アルファ6-ペータ4インテグリンシグナル伝達路、特定の生物系；アメーバ症、特定の生物系

機能

ATP結合；酵素結合；ヒストンキナーゼ活性 (H3-T6特異的)；金属イオン結合；ヌクレオチド結合；タンパク質結合；プロテインキナーゼC活性；プロテインキナーゼ活性；プロテインキナーゼ活性；タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性；亜鉛イオン結合

単位定義

1ユニットは、30°CでpH 7.2の条件下で1分間にCREBtideに1 pmolのリン酸を転送します。

保管・発送情報

安定性

-70°C